

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 潮来市立牛堀中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	全学年 105名(1年28名、2年33名、3年44名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	・スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心とともに生涯スポーツに関わることのできる心情を育成する。 ・オリンピックのすばらしさや意義等への理解を深めるとともに、オリンピック開催地の一員としてオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
5 取組内容	1 外部講師による授業 【日時】令和3年10月13日(水) 【場所】牛堀中学校体育館 【講師】中田 浩二氏(鹿島アントラーズCRO、サッカー元日本代表)  (1) 事前指導 ① オリンピック・パラリンピックに関するアンケート ② 講師の中田浩二氏についての紹介 ③ 生徒会との事前打合せ  (2) 講話「夢をもつことの大切さ」 ① 小中学校時代の練習に取り組む意識の変化とレベルアップ ② 「自分で考えてやる」高校時代 ③ Jリーグで集中できる環境(強いチームとよき先輩とライバル) ④ 常に目標をもち、考え、チャレンジした鹿島アントラーズ時代 ⑤ 海外クラブチームへチャレンジ ⑥ 次のキャリアへの挑戦(鹿島アントラーズへ戻る) ⑦ 2020東京オリンピック開催(in kashima) ⑧ 目標をもってチャレンジを



(3) 質問タイム



(4) ふれあいタイム

クラスを5～6チームに分けて、サッカーボールを使って、ドリブルリレーを行った。



(5) ミニゲーム

サッカー部並びにサッカークラブチームに所属する生徒が中田氏と一緒にミニゲームをした。



(6) 事後指導

- ① オリンピック・パラリンピックに関するアンケート
- ② 今日の授業の感想記入

	<p>2 事後活動</p> <p>(1) FM かしま「We love Itako」の収録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今日の授業を振り返って</li> <li>② 将来の夢について</li> </ul> <p>(2) FM かしま「We love Itako」の放送の視聴</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 主な成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話では、子供の頃からの話やJリーグ時代、オリンピックや日本代表として活躍していた頃の心構えや実践などの体験談などを伺い、「目標をもって、チャレンジすることの大切さ」について、自分の目標と合わせて考えるよい機会となった。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックをより身近に感じる事ができた。また、スポーツに関する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心情を育成することができた。</li> </ul> <p>(2) 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢をもつことで、チャレンジする力が湧いてくる話が印象的だった。</li> <li>・自分の意志でがんばり、今の立場にいるのがすごいと思った。</li> <li>・夢や目標は大きくても小さくてもよい。失敗をすることは恥ずかしくないし、失敗しないと大きくなれないと思った。</li> <li>・夢や目標をもつことやあきらめないことの大切さを改めて感じた。今後の部活動では、チームの人達のために練習や試合を頑張りたいと思った。</li> <li>・夢をもつことの大切さが分かった。夢をもつことで、チャレンジする力が湧いてくる話が印象的だった。</li> <li>・自分の意志でがんばり、今の立場にいるのがすごいと思った。将来の夢が叶うように、今から頑張っていこうと思う。</li> <li>・挫折をしてしまった時の話では、自分と重ねて聞いた。両親を説得してまで、サッカーを続けたいという先生の話はびっくりした。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿嶋市を拠点としているプロサッカーチームである鹿島アントラーズの中田浩二氏による講話並びに交流会によって、スポーツに対する生徒の興味・関心をより高めるようにした。</li> <li>・2021年に鹿嶋市で開催されたオリンピック競技のサッカーと関連のある内容で事業を行うことで、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めるようにした。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中での実施ということもあり、講師を人選することは、時間がかかり難しかった。</li> <li>・単発的な行事にならないように、保健体育や他教科の中でオリンピック・パラリンピックについて取り上げるなど、教育活動として位置付けていかなければならないと感じた。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック以降に、どのように継続していくかが課題である。継続するための費用の確保も難しい。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「I'm POSSIBLE」やオリンピックやパラリンピックの映像資料などを積極的に活用して、より深い学びにつなげることができるようにしたい。</li> </ul>